

2023年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月11日

上場会社名 初穂商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 7425 URL <https://www.hatsuho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 斎藤 悟

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理室長

(氏名) 成田 哲人

TEL 052-222-1066

四半期報告書提出予定日 2023年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	8,572	10.1	481	32.7	517	29.5	302	35.9
2022年12月期第1四半期	7,782	4.6	363	67.1	399	56.5	222	67.8

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 340百万円 (30.4%) 2022年12月期第1四半期 260百万円 (57.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	184.87	
2022年12月期第1四半期	136.03	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	20,788	8,941	38.2
2022年12月期	21,109	8,768	36.8

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 7,950百万円 2022年12月期 7,778百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期		0.00		80.00	80.00
2023年12月期(予想)		0.00		85.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,700	3.5	670	6.3	730	1.9	430	6.8	262.74
通期	32,400	1.9	1,320	2.5	1,460	2.0	870	1.8	531.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期1Q	1,740,330 株	2022年12月期	1,740,330 株
期末自己株式数	2023年12月期1Q	103,745 株	2022年12月期	103,745 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期1Q	1,636,585 株	2022年12月期1Q	1,636,585 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限が緩和され、ウィズコロナの下で社会経済活動の正常化に向けた動きが進み、景気は穏やかな回復基調で推移いたしました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、世界的なインフレと金融引締めに伴う景気後退リスクが懸念されております。

建設業界におきましては、公共投資においては底堅く推移しており、民間投資におきましては、住宅建設及び首都圏のマンション総販売戸数においては底堅い動きとなっております。また、堅調な企業収益等を背景に、設備投資需要の持ち直しが期待されておりますが、鋼材等の原材料価格は高止まりしており、厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては、建設セグメントのビジネスに特化した建設資材商社のNo.1を目指し、三本の事業の柱による多角的な成長戦略に取り組んで参りました。前年から原材料価格の高止まりが続いておりますが、国内の穏やかな景気回復により、一部地域においては建設需要が堅調に推移いたしました。また、全事業セグメントにおいて、仕入れコストの相場変動に柔軟に対応した適正な販売価格を設定し、建設需要の取り込みを図ったことにより、当社グループの業績は、前年同四半期比において増収増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、85億72百万円(前年同四半期比10.1%増)、営業利益4億81百万円(前年同四半期比32.7%増)、経常利益5億17百万円(前年同四半期比29.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益3億2百万円(前年同四半期比35.9%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(内装建材事業)

内装建材事業は、売上高は42億59百万円(前年同四半期比19.3%増)、営業利益は3億55百万円(前年同四半期比53.7%増)となりました。

当第1四半期連結累計期間においては、前年より続けております原材料価格の高止まりに対する、仕入価格相場に対応した価格改定が進んだことや全国的に建設需要が堅調に推移したことにより、前年同四半期比において増収増益となりました。

(エクステリア事業)

エクステリア事業は、売上高は31億79百万円(前年同四半期比5.5%増)、営業利益は2億20百万円(前年同四半期比8.9%増)となりました。

当第1四半期連結累計期間においては、販売店向け記念キャンペーン等の営業活動の積極的な展開により、前年同四半期比において増収増益となりました。

(住環境関連事業)

住環境関連事業は、売上高は11億80百万円(前年同四半期比1.9%減)、営業利益は47百万円(前年同四半期比26.8%減)となりました。

当第1四半期連結累計期間においては、主にALC金具副資材の販売における中京圏の物流倉庫の建設需要の減退やALC建材の代替製品の普及から工事案件の受注が減少したこと等により、前年同四半期比において減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は207億88百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億20百万円減少いたしました。これは主に、商品が1億25百万円、有形固定資産のその他が1億2百万円増加し、現金及び預金が1億68百万円、受取手形及び売掛金が3億82百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は118億47百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億93百万円減少いたしました。これは主に、電子記録債務が3億55百万円、長期借入金が2億42百万円、固定負債のその他が1億88百万円増加し、支払手形及び買掛金が8億16百万円、未払法人税等が1億96百万円、役員退職慰労引当金が2億43百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は89億41百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億72百万円増加いたしました。これは主に、配当金の支払及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が1億71百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期通期の業績予想につきましては、2023年2月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症が経済に与える影響は減少することが予測されますが、ロシア・ウクライナ情勢等の地政学リスク、資源価格の高騰など依然として先行き不透明な状況が続くものと見込まれており、今後の状況の変化により、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

[ご参考 2023年度(2023年12月期連結業績見通し)]

	第2四半期(累計)	通 期
売上高	157億円	324億円
営業利益	6億70百万円	13億20百万円
経常利益	7億30百万円	14億60百万円
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	4億30百万円	8億70百万円

(注) 上記連結業績見通しに関する注意事項

2023年度(2023年12月期)連結業績予想値は、現時点で入手可能な情報をもとに行った見通しであります。そのため、上記連結業績予想数値はこれらの要因の変動により大きく異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,946,037	5,777,807
受取手形及び売掛金	6,791,896	6,409,539
電子記録債権	1,202,454	1,232,543
商品	1,388,709	1,513,828
その他	136,001	128,300
貸倒引当金	△1,353	△1,415
流動資産合計	15,463,746	15,060,605
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,930,297	2,930,297
その他(純額)	849,837	952,103
有形固定資産合計	3,780,135	3,882,401
無形固定資産		
顧客関連資産	377,616	364,129
その他	20,894	25,944
無形固定資産合計	398,510	390,073
投資その他の資産		
その他	1,514,155	1,502,211
貸倒引当金	△46,749	△46,421
投資その他の資産合計	1,467,405	1,455,789
固定資産合計	5,646,051	5,728,265
資産合計	21,109,798	20,788,870
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,704,684	7,888,181
電子記録債務	890,847	1,246,295
短期借入金	370,000	370,000
1年内返済予定の長期借入金	366,680	425,840
未払法人税等	355,055	158,953
賞与引当金	184,599	149,394
その他	643,574	595,209
流動負債合計	11,515,441	10,833,874
固定負債		
長期借入金	262,557	505,069
役員退職慰労引当金	265,834	22,064
資産除去債務	26,596	26,644
その他	271,082	459,971
固定負債合計	826,071	1,013,749
負債合計	12,341,512	11,847,624

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	885,134	885,134
資本剰余金	1,316,174	1,316,174
利益剰余金	5,689,152	5,860,783
自己株式	△123,779	△123,779
株主資本合計	7,766,682	7,938,313
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,828	11,723
その他の包括利益累計額合計	11,828	11,723
非支配株主持分	989,774	991,208
純資産合計	8,768,285	8,941,245
負債純資産合計	21,109,798	20,788,870

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	7,782,757	8,572,078
売上原価	6,344,233	6,965,716
売上総利益	1,438,523	1,606,361
販売費及び一般管理費	1,075,316	1,124,546
営業利益	363,207	481,815
営業外収益		
受取利息	878	887
受取配当金	400	636
仕入割引	26,312	27,546
その他	10,203	8,303
営業外収益合計	37,795	37,372
営業外費用		
支払利息	861	785
貸貸費用	344	342
その他	148	367
営業外費用合計	1,354	1,495
経常利益	399,648	517,691
税金等調整前四半期純利益	399,648	517,691
法人税、住民税及び事業税	129,454	128,871
法人税等調整額	12,203	48,305
法人税等合計	141,658	177,176
四半期純利益	257,989	340,514
非支配株主に帰属する四半期純利益	35,365	37,956
親会社株主に帰属する四半期純利益	222,624	302,557

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	257,989	340,514
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,958	△367
その他の包括利益合計	2,958	△367
四半期包括利益	260,948	340,146
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	225,959	302,453
非支配株主に係る四半期包括利益	34,989	37,693

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による会計上の見積りへの影響)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による会計上の見積りへの影響)に記載した内容から、重要な変更はありません。

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、2023年3月28日開催の第65回定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う退職慰労金の打ち切り支給を決議いたしました。これに伴い、当社にて計上しておりました「役員退職慰労引当金」154,022千円を取り崩し、「長期未払金」として固定負債の「その他」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	内装建材事業	エクステリア事業	住環境関連事業	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	3,570,102	3,009,249	1,203,405	7,782,757
外部顧客への売上高	3,570,102	3,009,249	1,203,405	7,782,757
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	5,718	—	5,718
計	3,570,102	3,014,968	1,203,405	7,788,476
セグメント利益	231,232	202,454	64,710	498,396

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	498,396
全社費用(注)	△135,188
四半期連結損益計算書の営業利益	363,207

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	内装建材事業	エクステリア事業	住環境関連事業	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	4,259,931	3,131,824	1,180,321	8,572,078
外部顧客への売上高	4,259,931	3,131,824	1,180,321	8,572,078
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	47,813	—	47,813
計	4,259,931	3,179,638	1,180,321	8,619,891
セグメント利益	355,362	220,414	47,384	623,162

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	623,162
全社費用(注)	△141,347
四半期連結損益計算書の営業利益	481,815

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。